

配達・集金をしながら地域の見守り

本日17日、杉並区役所では、「杉並区ながら見守り活動に関する協定書」の締結式が行われました。この協定は、杉並区と区内の3郵便局（杉並・荻窪・杉並南）、そして杉並区と一般社団法人東京都信用金庫協会の間で、それぞれ締結されたもので、事業者が日常業務として配達や集金でまちの中で気付いた異常を関係機関に報告するなどによって、子どもや高齢者の見守りにつなげていくものです。

杉並区の人口は、平成27年12月1日現在で553,149人です。みどりが多く都心へのアクセスも良いため、住宅都市として発展してきました。しかし、住宅都市がゆえに、日中は子どもや高齢者が家に残り、その時間帯を狙った犯罪も起きています。こうした犯罪弱者を見守るため、警察や地元の155の防犯自主団体などが、定期的にパトロールなどを行ってきた結果、区内の空き巣やひったくりなどの犯罪の発生は減ってきています。

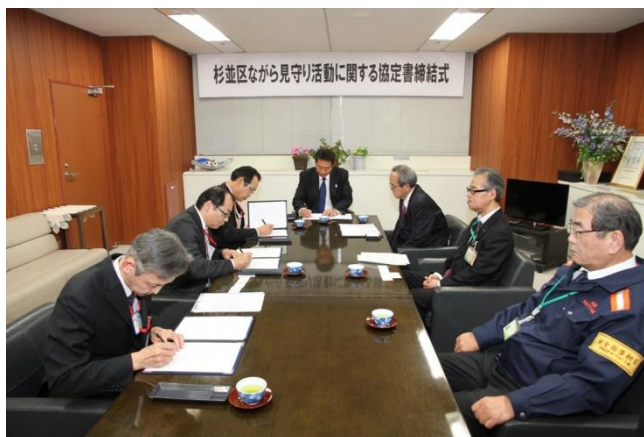
◆犯罪発生件数の推移（27年は、1月～10月までの件数）

項目	平成23年	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年
東京都内	186,435	172,388	162,565	160,134	122,773
杉並区内	6,216	5,634	5,431	5,248	3,986

しかし、こうした活動を担う防犯自主団体のメンバーの大半が高齢者で、今後の活動の停滞が懸念されています。高齢者が増加する中、これまで以上に安定的に防犯活動を継続していくためには、地域住民だけでなく、区内事業者や在学者の協力を得ることが必要です。区では、これまでも区内6大学の学生によるボランティアを結成し、区の様々な行事で活動を行ってきました。

今回はこれに加え、日中に区内で配達や集金業務を行っている郵便局と信用金庫の協力を得ることになりました。郵便局では、区内全域に郵便物を配達しています。一日あたり、3郵便局でおよそ350人が区内をバイクなどで走行し28万通ほどを取り扱います。その配達の際に、ポストに新聞が溜まっていたり、不審人物を見かけたら、声掛けや警察などへの通報をしてもらうことになりました。また、区内には、信用金庫が21店舗あり、顧客を回って集金を行っています。この集金の際にも、同様の見守り活動を担ってもらうことになりました。

本日、区役所では田中区長と郵便局長などが出席し、「杉並区ながら見守り活動に関する協定書」を締結し、今後の協力を約束しました。



【問い合わせ先】

危機管理室地域安全担当 03-3312-2111 内線 1582